

正誤表

- P10L12 : 大きなテーマ⇒特定のテーマ
- P20L14 : 甚目寺町⇒甚目寺町 (現・あま町)
- P22L14 : 通じてよこた⇒通じてよこした
- P24L14 : 二四七五⇒四二七五
- P33L9 : 発信元⇒発信源
- P34L3 : 鱸は酢に浸した魚介⇒鱸は酢に浸した魚介
- P36L9 : グググツ⇒グツグツ
- P37L11 : 片刃の切丁⇒片刃の庖丁
- P38L8 : 風習が珍しく⇒風習を珍しく
- P39L2 : 沈降⇒沈降・隆起
- P40L14 : 魚肉・鳥獣肉⇒鳥獣肉・魚肉
- P42 表 1 注 1 : 数字の後の ` ⇒数字の後の `
- P44L16 : 日本同様に古くから⇒こうして日本同様に、朝鮮半島でも古くから
- P47L13 : 国土が膨大な中国⇒国土が広大な中国
- P52L6 : つまり大規模土木工事が比較的容易となり戦後に至って、⇒つまり戦後に至って大規模土木工事が比較的容易となり、
- P55L8 : 多鳥のルビ・たからす⇒たがらす
- P55L9 : [白水一九九四]⇒[白水：一九九四]
- P58L4 : 広島県大柿町⇒広島県大柿町 (現・江田島市)
- P58L13~14 : 千葉県⇒茨城県
- P58L14 : 波崎町⇒波崎町 (現・神栖町)
- P62L6 : 鯉鮒鹹鰻鯰⇒鯉鮒鹹【ルビ：(鹹がイ)カ】鰻鯰
- P62L7 : 間のルビ・マゝ⇒マゝ
- P63L5~8 : 改訂稿・とともに、村の農家が共同で漁を行うこと。③農閑期の余剰労働力を背景に、大規模な漁撈となること。④一回性の漁であるが、一度に多量の漁獲がもたらされること。⑤稲作の各種作業による時期的規制が少ないこと。などが特徴で、この時期大量に獲れた場合には、乾燥などの方法で保存食とすることもあるが、ハレの食とするために獲るケースも少なくない、という。
- P68L7 : 明治初年から⇒明治初年頃には
- P69L8 : 売ったが安いため、⇒売ったが、安いため
- P78L4 : 食事をしことを意味する⇒食事をしたことを意味する
- P79L14 : 元日最後の⇒元旦最後の
- P82L7 : 後水尾院【ルビ：ごみずおいん】⇒【ルビ：ごみずのおいん】
- P93L9 : 深い絆⇒深い餅
- P98L11~12 : 寛弘二年 (一〇〇五) 三月⇒寛弘二 (一〇〇五) 年三月
- P98L16 : 承元二年 (一二〇八) ⇒承元二 (一二〇八) 年
- P99L2 : 貞治二年 (一三六三) ⇒貞治二 (一三六三) 年
- P101L1 : を基礎とするもので⇒を身につけた僧で

P101L2 : 発達した⇒発達していたことが窺われる
P101L17 : 菓子組み込まれて⇒菓子が組み込まれて
P106L5 : 第四章⇒第4章
P108L2 : いわゆる齋庭⇒先にもふれた齋庭
P109L2 : 川の源でもあり漁撈⇒川での漁撈
P110L17 : 三五番右⇒三五番左
P111L14 : 民俗用語⇒民俗学的用語
P130L6 : 粟穂稗穂【ルビ：あわほひえぼ】⇒【ルビ：あわほひえぼ】
P137L11 : もともとは神を祀る宮座神事であるが⇒もともと宮座は神を対象としたものではあるが
P140L2 : 布水取り⇒お水取り
P141L6 : ものにしかすぎないが⇒ものでしかないが
P147L10 : 殺生禁断令のとみなすべき⇒殺生禁断令とみなすべき
P147L12 : 国家鎮護の基本の基本に⇒国家鎮護の基本に
P149L8 : こうした「草木⇒この「草木
P150L6 : 神仏が殺生の罪を⇒神が殺生の罪を
P158L13 : 疑【ルビ：き】⇒【ルビ：ぎ】
P161L6 : いかなるふるまひるすべし⇒いかなるふるまひもすべし
P185L6 : 五七七七七⇒五七五七七
P205L17 : 狂歌句碑⇒狂歌の碑
P211L11 : 知識入手形態⇒知識伝達形態
P212L14 : 大和国山辺郡⇒室町期の大和国山辺郡
P217L5 : 頼春水【ルビ：らいしゅうすい】⇒【ルビ：らいしゅんすい】
P223L3 : 葦草酒山門⇒葦草酒山門
P223L11 : 領国柳橋⇒両国柳橋
P230 表1の「10月 勸進相撲」項目内：相撲工業⇒相撲興行
P231L9 : 浅草の奥田⇒浅草の墨田堤
P232L2 : 日本橋人形町付近で⇒日本橋人形町付近にあたり
P232L3 : 屋台が集まり、江戸随一⇒屋台が集まる江戸随一
P232L17 : 預か⇒与
P233L16 : 浅草寺荒沢不動も、⇒浅草寺荒沢不動では、
P236L5 : 麴町八丁目⇒麴町八丁目
P244L2 : ことから、寺領一〇石⇒ことから、近世には寺領一〇石
P245L11 : 商売店が認知されて⇒商売店が認可されて
P246L9～12 : 津田敬順の⇒この「堀の内」は津田敬順の／二七話には、⇒二七話に、／とあるように、
⇒とあることから、／妙法寺のこととすべきだろう⇒妙法寺とすべきだろう
P246L14～15 : 宗派上の問題から天台宗となり東叡山の管轄であったが⇒天台宗となり東叡山の管轄と
されたが／雑司ヶ谷に確立され、⇒雑司ヶ谷に建立されて、
P261L6 : 突然の侵略者である。“文明人” ⇒突然の侵略者である“文明人”
P268L4 : 齐明天皇二年（六五六）⇒齐明天皇二（六五六）年
P270L11 : 味海鱈に異なる事なし⇒味海鱈（クジラ）に異なる事なし

P271L8 : 長年⇒明治初期に長年
P273L8 : 煮物などに用いる⇒煮物に用いる
P281L9 : 血によって、⇒血により、
P281L10 : 安東他 : 二〇一一⇒安里他 : 二〇一一
P286L3 : きわめて高い⇒きわめて多い
P286L4 (2か所) : 大阪⇒大坂
P287L9 : 昌泰王⇒尚泰王
P289L1 : またトンカツ⇒なおトンカツ
P289L7 : 影響を抜きに物語る⇒影響を抜きに語る
P292L9~10 : ほとんどがモンスーンアジア⇒モンスーンアジア
P292L16 : 肉食を受容し⇒肉食を許容し
P296L8 : 双方を求めた⇒双方に求めた
P299L12 : 『魏志倭人伝』⇒『魏志』倭人伝
P301L14 : また実際には⇒だが実際には
P308L7 : 『魏志倭人伝』⇒『魏志』倭人伝
P308L15 : 箸で陰部を突かれた⇒箸で自ら陰部を突いた
P312L1 : お茶に⇒お茶
P314L17 : 『茶経』⇒陸羽著『茶経』
P316L8 : 製造に乗り出た⇒製造に乗り出した
P321L2 : 浸透しつつあり、殿中の茶⇒浸透し、殿中の茶
P321L16 : 金銀亀是⇒金銀亀足など
P323L8 : 売茶王⇒売茶翁
P323L13 : 茶自体の飲用が⇒近世には茶自体の飲用が
P324L5 : 『茶経』一の源⇒『茶経』一之源
P324L8 : 日本でももっとも⇒日本でもっとも
P326L5 : 椎茸け⇒椎茸
P335L3 : 今日の日本では⇒今日の日本は
P339L5 : 市川市⇒松戸市
P341L16 : 山梨県河口湖町⇒山梨県富士河口湖町
P343L2 : 二・八年に一年の割合⇒二・八年に一度の割合
P345L11 : 例えば一九九四年⇒例えば一九九三年
P346L7 : 食料事情が⇒食料事情は
P346L8 : なかった建治⇒なかった。建治
P347L6~7 : 「自当年⇒「当年
P350L3 : 一・八三倍もあり⇒一・二五倍で
P360L6 : 二度ほど起きている。明治二三 (一八九〇) ⇒三度ほど起きている。明治二二 (一八八九)
P361L12 : 農民たちを⇒人々を
P385L4 : 雑談や研究会での議論を⇒研究会での議論や雑談を
P391 上 L6~7 : 古今料理世解題⇒古今料理書解題／一九五八⇒一九七九
P391 下 L19 : 一九八八 a (a の横を縦に)

P395 下 L4 : 御茶の水書房。⇒御茶の水書房

P396 下 L3 : 第五号所収⇒第五号

P396 下 18～19 : 『弥生文化研究』 所収⇒『弥生文化研究』

P400 下 6 : 明治図書出版⇒新訂増補故実叢書、明治図書出版、一九五二

P400 下 13 の次に以下を挿入 : 『後水尾院当時年中行事』 近藤瓶城編『改定史籍集覧 第二七冊』 臨川書店覆刻、一九八三

P401 下 L14 : 校注、新日本⇒校注、新日本

P402 下 L1 : 江戸時代料理本集成角書・綱刻⇒翻刻

P404 下 L21 : 一九六五⇒臨川書店、一九六五

P405 上 L23 : 一九七三?⇒一九七五

P406 上 L15～16 : トル

P406 下 L19 : トル

*深くお詫び申し上げるとともに、謹んで訂正いたします